

2 月 定 例 教 育 委 員 会  
会 議 録

1. 招集年月日 令和6年2月15日（木）
2. 招集の場所 海田町役場
3. 開会（開議）令和6年2月15日（木）9時00分宣告

4. 出席者

教育長 佐々木 智彦 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏  
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳

5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 森山 真文  
学校教育課長 小村 孝広 主幹 立田 春美  
主幹 高木 和希 生涯学習課長 森原 知美

6. 職務のため出席した者の職氏名

課長補佐 世良 啓

7. 本日の議事日程

- 第1 会議録署名者の指名について 米丸委員
- 第2 議 案 第1号 令和6年3月議会補正予算案について
- 第3 議 案 第2号 令和6年当初予算案について
- 第4 報告協議第5号 令和6年度夢未来ビジョンについて
- 第5 報告協議第6号 生徒指導上の諸課題について

## 第6 報告協議第7号 各行事の開催及び結果等について

### 8. 議事の内容

9:30 開始

○教育長（佐々木） それでは2月教育委員会会議定例会を始めます。本日の会議録の署名は、米丸委員にお願いいたします。本日の議事日程は、皆様のお手元に配布しておりますとおりでございますが、議案第1号及び議案第2号は、非公開としたいと思います。非公開とする理由につきましては、検討中の予算案に関することであるためでございます。議案第1号及び第2号を非公開とすることに御異議ございませんか。

（全委員から異議なしの声）

○教育長（佐々木） 異議なしと認め、議案第1号及び議案第2号については、非公開と決定します。

（議案第1号）

（議案第2号）

○教育長（佐々木） それでは次にまいります。報告協議第5号令和6年度夢未来ビジョンについてを議題とします。事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長（立田） 11 ページをお開きください。全体的には、今年度と来年度は大きくは変わりませんので、新たな取組を中心として御説明いたします。まず、今年度と同じように来年度も「夢と志を持ち、

挑戦する児童生徒の育成」として取組を進めてまいります。左上の「海田版学びの革新推進事業」のところを御覧ください。ここで新たに取り組んでいきますのは、基礎的な知識、技能の習得のところ、小学校の低学年段階における学習のつまずきの把握と的確な取組ということで、コグトレを導入し実施をしていきます。コグトレというのは御存じのとおり、認知機能を高めるために用いているものでございます。小学校の低学年段階のところ、つまずきを的確に把握して、個に応じた支援を行ってまいります。このことは下段の「学びのセーフティーネットの構築」の特別支援教育の充実のところでも明記させていただいております。次に右側のほう見ていただきまして、ICT活用、グローバル人材育成事業のところを御覧ください。来年度、英語のデジタル教科書を学習者用として導入する予定でございます。これを効果的に活用し、授業をつくっていきたいと思っております。小・中学校の児童生徒に話すことの力を定着させるために、学習内容を工夫していくという計画でございます。次に、中ほどの大きな四角の中を御覧ください。1番上、心の元気を育てる道徳教育の推進でございますが、これまでは、心の元気全町展開プロジェクトとして取り組んでまいりました。全町展開というところできてきておりますので、少し名称を変えまして、心の元気を育てる道徳教育の推進ということで取り組んでいきます。1番新しいのは、今までは、海田中学校区で、道徳の指定を県から受けまして、道徳科の授業を中心として道徳教育

を進めてきたんですけれども、来年度は全町ぐるみということで海田西中学校区におきましても、道徳科の授業づくりというところを取り組んでまいります。全町挙げて道徳科に取り組んでいくという計画でございます。それから少し下がりました、3つ目の四角ですが、防災教育の推進でございます。「ひろしまマイ・タイムライン」を、これまで小学校4校につきましては紙の媒体で「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した防災教育をしてまいりました。来年度はそれを拡充し、中学校での取組ということで広げていこうと思っております。広島県防災減災推進課がeポータルを使って活用したコンテンツを作成したということで、先日、海田西中学校のほうで、試しに授業を行っておりまして効果的であることも分かってまいりましたので、これを両中学校でも広げてまいりたいと思っております。次に、少し下がりました、中学校部活動地域移行のところでは、子どもたちのスポーツ文化に楽しむ機会の確保と教職員の働き方改革ということで、中学部活動の地域移行それから地域連携ということで取り組んでいきます。

1番下の四角の「学びのセーフティネット」のところは、先ほど説明したとおりです。右側の教育環境の整備のところでは、読書活動の推進なんですけれども、先日、新聞報道にもありましたが、広島県立図書館が行っている電子図書館の活用を全町に広げまして、高学年以上、小学校の5、6年生、それから中学校の全学年で、電子図書館による活用ということで読書環境をさらに充実させていきたいと考えており

ます。この部分については新年度の5月からは活用ができるようにと  
考えておりまして、今準備を進めているところです。1番下、学校施  
設の長寿命化の推進というところで、東小学校本館改築基本構想及び  
基本計画、設計の策定、それから、海田西中学校等のトイレの実施設  
計というところが新規です。説明は以上でございます。

○生涯学習課長（森原）続きまして生涯学習課から御説明します。12 ペ  
ージをお願いします。「人がつながり、夢を育む生涯学習の推進」と  
して、翌年度の各事業に取り組んでまいります。初めに、上の段の  
「学び続ける力の育成」につきましては、生涯学習課を中心に、社会  
教育施設が連携しながら、学び続ける力を育成する講座等を実施して、  
住民が快適な環境で学習に取り組めるように取り組んでまいります。  
主な事業としましては、居場所づくりのための放課後子ども教室の実  
施や、文化スポーツ活動や自然体験などを行う、公民館や図書館の主  
催講座の実施などを行ってまいります。続いて、左下の「芸術文化・  
スポーツの振興」につきましては、社会教育団体への支援や文化芸術  
スポーツ事業を実施してまいります。主なものとしましては、公共ホ  
ール活性化支援事業によるクラシックコンサートやけんみん文化祭民  
謡・民舞の実施、スポーツ振興につきましては中学校部活動の地域移  
行を推進してまいります。最後に、歴史文化の継承につきましては、  
織田幹雄記念館、旧千葉家住宅を中心に、海田町の歴史文化と織田幹  
雄さんの偉業の継承に取り組んでまいります。主なものとしましては、

文化財保存活用地域計画の作成や、来年度旧千葉家住宅座敷棟が建築250年を迎えることから、年間を通して事業を実施することとしております。以上で生涯学習課の説明を終わります。

○教育長（佐々木）まず、学校教育課の方から、皆さん御意見いただきたいと思いますが、お願いします。

○委員（竹岡）基本的な確認なのですが、この夢未来ビジョンは、教育委員会のホームページに掲載していますか。掲載していなければ掲載してはと思います。あと、学びの変革推進事業の柱の中に一つ、コグトレの実施があるのですが、コグトレには、何年ぐらい取り組まれておられるのか、認知機能を高めるという効果の部分はどうに測っておられるのか教えていただければと思います。

○教育次長（森山）ホームページの掲載については検討します。

○主幹（立田）コグトレについては、令和4年度に通級指導教室、小学校で導入したのですが、通級指導教室に通ってくる子どもさんたちに合っていたようです。コグトレをやっていくにつれて、集中力が高まったとか、判断力の向上につながっているということは、データというよりは指導している先生たちの感触として上がってきています。とてもいいものだから、中学校にも、入れてほしいというような希望もありまして、令和5年度中学校の自閉症・情緒学級に入ったということです。

○主幹（高木）令和6年度については、東京書籍と広島大学の宮内先生

と一緒に小学校2年生と3年生で取り組んでいきます。4月の段階で学力調査を小学校2年生3年生を対象に実施し、そのあと週1回のコグトレタイムを各学校で15分間実施し、12月の学力調査で分析をします。認知機能、即ち見る、聞く、想像する力がどれだけ学力につながっているかというのを検証していきます。

○教育長（佐々木）発達障害の子供たちへの体系的なトレーニングがなかなかなくて、宮内先生が大阪の吹田市でやっているコグトレ塾ではプログラムがあるわけです。紙媒体でやっていたのを東京書籍がデジタルでつくったんですね。子供たちは興味を持ってやっています。

○委員（竹岡）コグトレが子供たちの認知能力の向上の一助になればよいと思います。

○委員（大野）私もコグトレの回数を重ねるごとに落ち着きを取り戻す児童の様子を見たことがあります。期待をしています。

○委員（林）効果検証をどのようにやっていくか。点検評価では触れていますか。

○教育次長（森山）特別支援教育の充実については、恐らく点検評価の中で触れていないと思います。評価項目を明確に立ち上げてするっていうところは、今後、数値化とか比較ができるのであればやっていかないといけない部分ですね。

○委員（米丸）どのように、ひろしまマイ・タイムラインをつくるか。学校から出て家に帰るまでとか。

- 主幹（立田）コンテンツの中でも、自分の住んでいる地域が、こうだからこういう避難行動をすとか、警戒レベルなども踏まえながら、中学校については、自分で避難行動を決めるとか、家でも話し合っているっていうようなところまで踏み込んだ内容になっています。
- 教育長（佐々木）これは県の知事部がデジタル版をつくるという話だよ。もうできているのですか。
- 主幹（立田）試作品ができていて、先日、それを海田西中学校で試しました。
- 教育次長（森山）先ほど言われたように、家庭で保護者と話をして、プランをつくるというのがメインになっています。地域の状況を知らないといけない。
- 教育長（佐々木）それでは、生涯学習課のビジョンについて皆様から意見を賜りたいと思います。生涯学習課の目玉は、旧千葉家住宅の250周年のコラボ事業ですかね。それとパリオリンピック。4年に1回、織田幹雄さんが脚光を浴びます。ここを注力してやってください。100年前は織田さんが、これに出場して、入賞しているわけですから。1924年に。1928年に金メダルを取った形ですから。
- 委員（大野）生涯学習課の事業で私が関わっている学びの広場というのがあるのですが、これを立ち上げた当時は、退職された先生方がいらしたのですが、教員免許を持った方が指導にあたり、すごくいいという評価をいただいていたんです。それを続けていくと高齢化してく

るわけです。何でもそうですよね、地域の行事もどう継続していくのかというのは、課題になっているんですね。やはり先に通して考えておかなければいけないと思います。

○教育長（佐々木）どの分野においても、人手不足があります。教員の人手不足も、自治会の役員のなり手不足も、PTA役員のなり手不足もです。

○教育次長（森山）部活動の地域移行については、いろんな自治体の検証の中で、最終的に人材バンクの立ち上げというところにゴールを持っているんですね。地域というのを広げて、例えば町内だけじゃなくて、やってくれる興味がある人に対して登録してもらって派遣するっていう、ただその裏には、必ず報酬がついてまわります。そこを生業にしてもらうほどの報酬は与えられないしというところがあるんですよ。持続可能な仕組みづくりっていうところの中で、やはり、財源と仕組みを一体的に考えていくことが必要になってくると思うんですね。

○委員（大野）人材バンクのシステムをつくることは非常に大切なことだと思います。児童館の方とか、そこで働いている方々は本当に協力的で助けられています。

○教育長（佐々木）予算のところでありましたけども、来年はエクシモンを廃止します。公共ホール音楽活性化事業がかわりになります。経費も相当削減できました。

○教育長（佐々木）報告協議第6号生徒指導上の諸課題について、事務

局から説明をお願いします。

○主幹（立田）13 ページをお願いします。報告協議第6号生徒指導上の諸課題についてご説明します。14 ページを御覧ください。まず小学校でございますが、暴力行為が1月末で22件です。これは前月比1件の増となっております。いじめは6件で増減ございません。不登校は24名で前月比1名の増です。それから、中学校の暴力行為は15件で前月比で3件の増、いじめは9件で増なし、不登校は36件で増なしです。15 ページの千人当たりの表でお示しをさせていただいているのですが、不登校が、前年度の3月末と比較して、小学校が8名の増、中学校は11名の増加となっております。児童生徒の悩みを聞いたり、カウンセラーさんにつないだりというような丁寧な対応をすることで、不登校を減らしてまいりたいと思います。残り1か月ちょっとなんですけれども、児童生徒に丁寧に寄り添うことで、社会につなげられるような対応をしていきたい、学校と連携をしていきたいと思います。報告は以上です。

○教育長（佐々木）はい。皆様から御意見や御質問はございますでしょうか。

○委員（大野）地域の子どもたちと触れあうことが多くて、子ども様子が昔と大分変わってきています。言葉で上手に伝えることがなかなか難しい子供が多いような感じがします。

○委員（竹岡）いろいろな支援者で関わり1人の子供を支えていくって

ということが、実は家庭を支え、学校、地域を支えていることになると  
思います。子どもの問題ではあるのですが、子どもを支え切れない、  
何かが家庭や環境にあるかもしれない。そういうところも含めて抱え  
てあげられるような支援体制というのが、求められているのだろうな  
と思います。

○教育次長（森山）海田中学校を例にとると、毎週水曜日にカウンセラ  
ーが来られます。学校だよりに予約をする案内があります。4時間目  
に関係職員で情報共有の場を設けるようにしています。そこに、管理  
職とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学年主任、  
養護教諭という形でプロジェクトみたいな形で、集まる機会を1週間  
に1度持っています。悪化が懸念されるもの、状況的に良くないもの  
については個別で取り出してケース会議を持つというふうな仕組みへ  
つないでいます。そこには警察の方やこども課にも来ていただしてい  
ます。

○委員（大野）校長先生方の考え、方針、ビジョンがあると思いますが、  
どういうふうな形でマネジメントしていくかっていうところも、やは  
り様々な研修が必要かなと思います。

○主幹（高木）昨日、学力調査の研修をしたのですが、学力調査に i-  
Check というものがあって、子どもの生活とか生徒指導面のアンケー  
トを行っています。子どもが1番悩んでいることについては、4年生  
以上では勉強という回答が断トツに多かったです。自己肯定感という

ところも本当に大事で、勉強のつまずきと子どもの内面の関係も大きいのかなと思います。

○教育長（佐々木） それでは、報告協議第7号各行事の開催及び結果等について、事務局から説明をお願いします。

○教育次長（森山） 報告協議第7号各行事の開催及び結果等について、教育委員の皆様には報告をさせていただきます。

○学校教育課長（小村） 17 ページをお願いします。2月ですが、本日この後11時から、この場所で、総合教育会議を予定しております。3月になりますけども、3日日曜日に中学校の卒業証書授与式、19日に小学校の卒業証書授与式でこの日は火曜日となっております。また、6日火曜日につきましては、米丸委員の辞令交付式を役場で予定させていただきます。それと、教育委員会会議のほうは、3月は2回ございます。8日金曜日の臨時会が午後13時30分から、海田町役場で予定しております。また、21日木曜日も、定例会でございます。これも午後になっております。13時30分から、同じく海田町役場のほうで予定しております。以上でございます。

○生涯学習課長（森原） 織田幹雄書道展が3月1日から28日まで織田幹雄スクエアで行われます。3月29日から4月18日まで、書道展巡回展を海田町役場で開催いたします。3月14日には書道展表彰式を織田幹雄スクエアで行います。

○教育長（佐々木） 皆様から御質問等ございますでしょうか。

(全委員からなしとの声あり)

○教育長（佐々木） それでは、以上で本日の議題は全て終了しましたので、教育委員会会議を終了いたします。

10 : 43 終了